

令和6年度公益財団法人新潟市海洋河川文化財団 事業報告

事業概要

【期 間】

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

【概 要】

当財団は公益法人として、令和6年度においても、公益法人制度の趣旨に鑑み、教育文化の普及啓発事業の一層の充実を図っていくとともに、当財団の主事業である新潟市水族館の指定管理業務について新たな5年間の指定管理期間の1年目の管理運営を行った。

水族館事業では、不安定な世界情勢や円安などによる物価高騰の影響や、猛暑・大雪など全国的な異常気象の影響があったものの、コロナ禍後のレジャー意欲は継続し、入館者数は555,093人で対前年度比103.2%と増加した。また、年間パスポート販売数やリピーター数も令和5年度とほぼ同数で推移し、多くの新潟市民の方からご来館いただいた。

普及啓発事業においては、例年実施する田んぼ体験や観察会などの野外体験教室のほか、ラムサール条約湿地自治体認証関連事業と冠したプログラムを実施し、湿地都市新潟市の魅力の発信、湿地への関心の向上を図った。また、9月に包括連携協定を締結した学校法人新潟青陵学園などの教育機関や行政機関との連携、出張展示など各種団体との連携も積極的に行った。

飼育生物については、600種20,000点の魚類、海獣その他水生生物の飼育展示数を概ね維持した。令和6年度はウミガラス1羽、フンボルトペンギン4羽が誕生した。また、能登半島地震で被災したのとじま水族館から預かっていたカリフォルニアアシカを返還した。

当財団は、水族館の指定管理者として、これまでに積み上げてきた知識、技術、経験、また全国的なネットワークを十分に生かし、引き続き新潟市水族館の指定管理者として来館者の安心・安全を第一に考え、来館者の一層の満足度向上に努める。そして、新潟市水族館の設置目的と「新潟で一番愛される施設」という当財団のビジョンを達成し、併せて法人としても健全な運営を行っていく。

なお、事業報告の詳細については、次頁以降のとおりである。

【事業名】

公益目的事業

- 1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業
- 2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

収益事業

- 1 施設管理に付帯する事業

1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業

【事業目的】

新潟における海洋・河川文化の現状や変遷を調査研究及び情報発信することにより、海洋・河川文化及び海洋・河川等、人との関わりの大切さを後世に継承し、併せて地域社会の持続的発展の担い手を育む。

【主な事業内容】

(1) 海洋・河川文化の普及啓発

※…ラムサール条約湿地自治体認証関連事業 罫…新規事業

区分	名称	プログラム等	実施日等	参加人数
体験学習	※田んぼ体験	罫田起こし	5/19	25人
		田植え	6/2	26人
		罫草踏み(1回目)	6/16	24人
		罫草踏み(2回目)	7/7	24人
		罫柵取付及びカカン作り	8/4	17人
		稲刈り及びはさがけ	9/29	26人
		脱穀	10/13	25人
	わら細工	11/3	26人	
	野外体験教室	貝の標本づくり	6/22	17人
		スナガニ観察会	7/6	17人
※潟の生きもの観察会		9/22	荒天により中止	
講演会	マリンピアカレッジ	グラスアクアリウム 自分だけの小さな地球を作ろう	5/11	46人
		海のスター！ヒトデの秘密	6/17	28人
		イルカの眼から見える世界	10/27	21人
	特別講演会	水族館職員が語る 深海調査と深海生物	7/27	51人
各種団体との連携	社会教育連携	※舟にのって水草刈りと泥上げ体験(新潟市歴史博物館との連携プログラム)	10/5	7人
		海のミュージアムサポート海岸清掃	5/6・6/1・9/28・11/4(中止:7/15・10/19)	728人

各種団体との連携	社会教育連携	新潟市ジュニア音楽教室 & マリンピア日本海 プチお楽しみ会「マリンコンサート」	3/9	約 200 人	
	学校教育連携	総合学習の受入れ	小学校 20 校、中学校 21 校、高等学校 5 校、その他 18 校計 64 校		2,124 人
		実習生の受入れ	大学 17 校、専門学校 5 校 計 22 校		22 人
		教育現場への講師派遣	小学校 11 校、中学校 2 校、高等学校 1 校、専門学校 1 校 大学 1 校計 16 校		派遣 17 人
		県立がんセンター新潟病院 小児病棟 ライブ配信	7/24・3/24		15 人
		新潟学校法人新潟青陵学園との包括連携協定（9/20 締結）関連	青陵大学学園祭（青空祭）への出展 10/26・27		約 700 人
			新潟福祉心理学部の課外授業受入れ 11/5		41 人
			新潟お正月プチお楽しみ会 1/6		約 100 人
	出張展示	ばんえつ発見の旅サポートイベントへの参加	6/8・9		2,262 人
		「海を流れるゴミ」ワークショップ（アピタパワー新潟亀田店）	6/29		73 人
		海鳥フェスティバル 海ゴミブース出展（北海道海鳥センター）	7/14		約 70 人
		キラキラベビーパレード出展（天寿園）	7/29		506 人
		ハマベリング!!!「にいがた氷菓の陣」ブース出展（日和山浜）	9/14-16		約 800 人
		ちょ〜生き物発表会シーズン7への出展（県立新潟自然科学館）	11/3		約 1,000 人
		にいがた環境フェスティバル 2024 への出展	11/17		約 500 人
アルビレックス新潟ホームゲーム市町村デーへの出展		11/30		約 100 人	
行政機関連携	第 9 管区海上保安庁による灯台記念日 156 周年展示イベントへの協力	10/26・27		約 100 人	

各種団体との連携	行政機関連携	圏北陸信越運輸局との共催「海の月間」パネル展	7/13-8/12	期間中 入館者数 84,292人
		圏新潟市動く市政教室「冬のマリンピアツアー」	12/21	54人
		圏新川漁港と魚を学ぼう！ギョギョっと★さかなクントークショー	3/26	500人

(2) 海洋・河川文化の調査研究

区分	名称	内容
研究発表	J A Z A (日本動物園水族館協会) 関連	<ul style="list-style-type: none"> ○関東東北・北海道ブロック動物園水族館合同技術者研究会での研究発表 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢かつ両眼を失明したミナミイワトビペンギンの飼育管理 ○海獣技術者研究会での研究発表 <ul style="list-style-type: none"> ・ウミガラス雛へのサプリメント投与 ○水族館技術者研究会での研究発表 <ul style="list-style-type: none"> ・スナガニのメガロバ期までの育成記録 ・コシノハゼの保全活動
	J A A (日本水族館協会) 関連	<ul style="list-style-type: none"> ○水族館研究会での研究発表 <ul style="list-style-type: none"> ・座礁したカマイルカの遊泳不良に対するアプローチ ・飼育下ウミガラスで見られた親以外の個体による抱雛行動
	その他研究会・学会	水産庁委託「さけます等栽培対象資源対策委託事業「新規栽培対象種技術開発(魚類グループ)成果発表会」
各種会議	J A Z A 関連	(全国) 通常総会、教育普及委員会、生物多様性委員会、水族館技術者研究会、設備会議、海獣技術者研究会、イルカ会議など (ブロック) 園館長会議、動物園水族館合同技術者会議など
	J A A 関連	通常総会、トレーニング勉強会、水族館研究会
	その他会議	新潟県博物館協議会、名古屋港水族館主催「ペンギン共同研究のための研修」、大都市動物園水族館事務主管者会議など
委託事業	水産庁委託	アカムツの親魚養成技術の開発
共同研究	J A Z A	ペンギン類のアニマルウェルフェアに配慮した飼育施設基準策定のための研究
	岐阜大学	カマイルカの繁殖生理の季節性や生殖腺活動の状況などの調査
	新潟大学	イルカから水中で無侵襲的に脳波を記録する方法を確立するための研究
	日本獣医生命科学大学	ハンドウイルカとカマイルカの代謝モニタリング調査
	岩手大学	ペンギン類の鳥マラリア感染に関する研究
	日本大学	カマイルカの形態的・遺伝的に異なる2集団に関する調査研究
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所	コシノハゼのDNA解析

(3) 海洋・河川文化の保護保全（生物種の保全を含む）

区分	名称	内容	回数
生息域内 保全	シナイモツゴ調査	県内の希少淡水魚の生息調査	2回
	コシノハゼ調査	県内の希少淡水魚の生息調査	4回
	ホトケドジョウ調査	県内の希少淡水魚の生息調査	1回
	ハクバサンショウウオ調査	県内の希少両生類の生息調査	1回
	タダミハコネサンショウウオ調査	県内の両生類の生息調査	1回
連携調査	深海生物調査	ROV（水中探査機）による佐渡海峡深海生物調査（ふくしま海洋科学館との共同）	3回
	福島潟いきものしらべ 水生生物観察会	NPO 法人ねっとわーく福島潟主催の自然観察会への講師派遣	1回
	親子魚探検隊（五泉・新発田）	生物多様性保全ネットワーク新潟主催の自然観察会への講師派遣	2回
	水あぶり（関川）	タランペクラブ主催の自然観察会への講師派遣	1回
生物調査	漂着混獲生物調査	県内の海岸に漂着または混獲された生物の調査	47回

2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

【事業目的】

新潟の自然環境とそこに生息する水生生物の展示を基礎としながら、多種多様な環境の生物を展示し、各種体験型プログラムを実施することで、市民が海洋・河川や水生生物などに親しむ機会の充実などを図り、海洋・河川に関心を持つきっかけとなる機会を創出する。

【主な事業内容】

(1) 水生生物に関する知識の普及振興

※…ラムサール条約湿地自治体認証関連事業

名称	プログラム	内容	実施日	参加 人数等
企画展示 (企画展 示室)	ふるさと新潟の 魚～県の推進ブ ランド・市の銘 産品～	県や市がブランド化を推進する魚の生体展示を行い、生態や人工授精についてパネルで紹介した。また食べ方や旬の時期なども紹介した。	3/16～6/16	期間中 入館者 136,827 人
	ROV で迫る日 本海の深海	ROV の実寸大模型や、ROV で記録され生物の生体展示や記録映像を公開した。また海底ゴミの実物や深海の水温を触って体験する水槽、調査生物ミニ図鑑の配布も行なった。	7/13～2/24	期間中 入館者 363,999 人

企画展示 (企画展示室)	にいがたの潟と水生生物	新潟の潟の成り立ちや人との関わり、環境の変化と外来生物により影響を受ける生物相、ラムサール条約など地域特有の水辺環境である「潟」について紹介した。	3/15~6/15	開催中
企画展示 (企画展示室以外)	ミニ展示 ふるさと新潟の魚	企画展示「ふるさと新潟の魚」終了後に続けて、内容を少し簡潔にして大水槽脇通路に場所を移して展示した。	7/20~8/31	期間中 入館者 126,065 人
	ミニ展示 海を流れるもの	自然由来の漂流物に色や模様で擬態する生物についてパネルで解説するほか、海ゴミにまつわるトラブルなどの事例を併せて掲示することにより、海洋環境を保全する活動の必要性について考えてもらった。	1/2~3/31	期間中 入館者 98,958 人
	とぶよ はねるよ ミナミイワトビペンギン	1990 年から今日に至るまでの新潟市水族館で飼育したミナミイワトビペンギンを紹介した。	10/18~5/23	開催中
	SNS フォトコンテスト受賞作品展	館内で撮影した写真を Web 上で公募し、年 2 回コンテストを実施した。受賞作品各 2 点計 4 点を館内及び Web 上で公開した。	作品掲示期間 ① 4/15~11/10 ② 11/11~4/1	応募総数 389 点
いきもの教室	水族館の水	水族館で扱う水がどのように取り入れられているかを見学しながら解説した。海水と淡水の違いや水の汚れなど実験を行いながら学んでもらった。	5/18	11 人
	水族館の獣医の仕事	水族館での獣医師の仕事の紹介を通して、具体的な仕事内容、社会的な役割を理解してもらった。	1/18	15 人
	イルカを調べてみよう	パネルや標本を用いた講義を通して生態や健康管理について学び、イルカを間近で観察し体のつくりを調べた。	3/1	19 人
大人向け教室	写真教室	水族館の楽しみ方の幅を広げるため、水槽内の生物を撮影する際の工夫について職員がレクチャーした。	11/9	7 人
障がい者向けイベント	ちょっと静かな水族館 サイレントウィーク	音に敏感な人も楽しめるよう、BGM やマイクを使った解説などを少なくし、いつもより静かな水族館で生き物や水の音などをじっくり観察できる環境を提供した。	2/25-3/3 (午後)	期間中 入館者数 6,459 人
ガイドツアー	ナイトツアー	通常観ることのできない閉館後の夜の水槽の様子を観察してもらい、昼と夜での生き物の活動の違いや外観の変化等を解説した。	8/30、8/31 9/6、9/7	79 人
	イルカバックヤードミニガイド	バックヤードやステージの見学を通して、飼育の裏側やイルカの生態について解説した。	10/12、10/19 10/26、11/2	51 人
参加型イベント	※にいがたフィールドガイド	にいがたフィールドを解説しながら案内し、環境と希少生物の域外保全等を紹介した。また、ラムサール条約湿地自治体認証についても解説した。	4~7 月、9 月、 10 月の第 3 土曜日 (計 6 回)	43 人

参加型イベント	企画展示「ROVで迫る日本海の深海」ガイドツアー	演出や構成の都合で伝えきれなかった細かい部分や網羅しきれなかった内容を、展示を見ながら解説した。	8/3、9/7、10/5 11/2、12/7、 1/4、2/1	41人
	ミナミイワトビペンギン解説	ペンギン海岸観覧席を使って、ミナミイワトビペンギンを観察しながら形態や生態について解説した。	10/19~11/9 (高病原性鳥インフルエンザの影響により10回予定のところ3回実施)	220人
記念日イベント	ペンギンの日イベント	ペンギンの生態や形態、野生の現状などを知ってもらうため、解説やパネル展示、バックヤードツアーを開催した。	4/1~5/24	期間中 入館者 78,266人
	カワウソの日イベント	カワウソ類の生態や野生の生息状況などについての解説パネルを展示したほか、カナダカワウソとラッコの毛皮に実際に触れてもらい感触の違いを感じてもらった。	5/25~6/30	50,642人

(2) 水生生物の展示、収集、飼育

区分	名称	内容	回数	参加人数
常設展示	飼育展示	600種 20,000点の魚類、海獣その他水生生物の飼育展示規模を概ね維持した。	常設	-
常設解説	イルカショー	ショー形式で、イルカの認知、行動能力などを解説し、楽しく学べるプログラムを提供した。(約15分)	4~5回/日	-
	マリンサファリ 給餌解説	トドやアザラシに餌を与えながら、体のつくりや生態について解説を行った。(約10分)	2回/日	-
	ペンギン解説	ペンギンに餌を与えながら、分類や生態、生息地の環境について解説を行った。(約15分)	2回/日	-
	日本海大水槽解説	大水槽の展示生物の紹介や海洋環境、水族館のしくみなどの解説を行った。(約10分)	1~2回/日 (繁忙期を除く)	6,235人
	磯のいきもの解説	磯の体験水槽で、生物の扱い方や、生息環境について、解説を交えながら実際に触れたり観察してもらった。(約10分)	1回/日 (繁忙期を除く)	2,916人
	アクアラボ体験	通常展示だけでは伝えきれない様々な生き物の生態などに関して、体験型プログラムで提供し、来館者へ発信した。(約20分)	1回/日 (繁忙期を除く)	2,497人

区分	名称	内容	回数
生物収集	水族館地先採集	アカモク、マヒトデ、マナマコなど	7回
	出雲崎アマモ場採集	アマモ場生物	7回
	新潟県内淡水生物採集	カジカ大卵型、アブラハヤ、タナゴ類等	10回

生物収集	佐渡乗船採集	深海生物（エビカゴ漁）	2回
	能生乗船採集	深海生物（ベニズワイガニ漁）	2回
	新潟漁協乗船採集	アオリイカなど（定置網）	2回
	間瀬乗船採集	シキシマハナダイ、アカムツなど	4回
	所有ボート乗船採集	流れ藻、釣り採集	2回
	新潟漁協新潟支所	イチョウガニ	1回
	新潟漁協西蒲支所	ノザワミツマタマナコ・コイボダイオウウニなど	3回
	新潟漁協五十嵐浜支所	ミズダコ・マダコ・クロヌタウナギなど	15回
	新潟漁協岩船港支所	ヒメダツ・ニジギンボなど	2回
	信濃川漁協	サケ卵	1回
	寺泊漁協	コブダイ、ミズダコなど	4回
	佐渡内浦漁協	ワカメ種系	1回
	聖籠町漁協	メガネカラッパ、ナガヅカ	2回
	新潟県水産振興協会	アユ	1回
	富山県水産試験所	アカムツ	1回
生物交換	魚津水族館	ガラルフア・イサゴビクニン・コンペイトウ	2回
	加茂水族館	エチゼンクラゲ、カブトクラゲ	1回
	上越市立水族博物館 うみがたり	セジロクマノミ・イサゴビクニン・タナカゲングなど	2回
	足立区生物園	セジロクマノミ・チヂミウスコモンサンゴ	1回
	ふくしま海洋科学館アク アマリンふくしま	コトクラゲ、クロヌタウナギ、ミズダコなど	3回
他園館等 からの 生物搬入	かごしま水族館	ツムギハゼ・オキナワフグ（譲受）	1回
	東海大学海洋科学博物館	チョウチョウウオ類・ミノカサゴ類など（譲受）	1回
	新潟県立植物園	ヤリタナゴ	1回
他園館 への 生物搬出	葛西臨海水族園	フンボルトペンギン（ペンギン舎改築中に預かっていたものを返還）	1回
	のとじま水族館	カリフォルニアアシカ（能登半島地震による施設改修中に預かっていたものを返還）	1回

収益事業

1 施設管理に付帯する事業

【事業目的】

施設利用者に対する利便性を図るため、レストラン及び売店、自動販売機等の設置。

【主な事業内容】

区分	場所	設置数
レストラン	本館2階	1ヶ所
軽食売店	屋外、屋上 ※季節営業	2ヶ所
移動販売車	アプローチ棟手前 ※季節営業	1ヶ所
売店	アプローチ棟	1ヶ所
自動販売機	館内各所	18ヶ所
ロッカー	本館1階	1ヶ所
記念メダル	本館1階	2ヶ所
プリントシール機	水辺の小動物ゾーン	1ヶ所
カプセルトイ（コイの餌）	屋外	1ヶ所

新潟市水族館の指定管理者としての実施項目と達成状況

1 普及啓発、調査研究及び保護

実施項目	達成目標	実績	評価
常設解説	毎日実施	イルカショーなど毎日実施	達成
企画展示	年間 250 日以上	年間 317 日	達成
ガイドツアー	3 企画以上、年間 20 日以上	4 企画 21 日	達成
各種調査等	公開・公表、研究機関との共有	各種調査・研究を行い、研究発表を行うとともに、HP で公開した。	達成

2 生物の展示

実施項目	達成目標	実績	評価
魚類等の飼育展示	600 種 2 万点を超える水生生物の飼育・展示	通年平均で 600 種 2 万点を超える水生生物を飼育・展示	概ね達成

3 年間入館者数など

実施項目	達成目標	実績	評価
年間入館者数	54 万人以上	555,093 人	達成
年間入館料収入	4 億 6,063 万 7 千円以上	4 億 8,315 万 1,032 円	達成
年間パスポート購入者数	1 万 4 千人以上	15,723 人	達成
年間パスポート所有者リピート数	年平均 7 回以上	5.7 回	未達成
ホームページと SNS の更新	合わせて週 7 回以上	週 10 回以上	達成

4 人材育成

実施項目	実績	評価
J A Z A や J A A などの会議・研究会へ参加	各種会議・研究会へ多数参加	達成
社内研修（職種別、階層別、共通）	アナウンス研修、薬品取扱講習、インクルーシブ研修、パワハラ研修など実施	達成
財団運営に必要な資格取得を推奨・促進	「資格取得者の助成要綱」の対象資格拡大。 資格取得者 2 名	達成